

【講師紹介】

□講師名

中野 佐世子 (なかの さよこ)
(NHK 手話ニュースキャスター)



□職位

関西福祉大学 客員教授

□資格・免許

手話通訳士 (厚生労働大臣認可)
東京都手話通訳等派遣センター登録手話通訳者

□プロフィール

- ・大学で幼児教育を専攻。幼稚園・児童館等での「親子共遊び」や手話ソングの指導を行う。
- ・1990年より、介護福祉士・ホームヘルパーの養成に取り組む。
- ・現在、幼児・高齢者・障害者との共生を目指す街づくりのため、各地で講演・研修を行う。
- ・NHK 手話ニュースのキャスターとして出演中。

□職歴・経歴

- ・高校時代にボランティア活動を始め、手話と出逢う。大学では幼児教育(障害児保育)を専攻。
- ・卒業後は、保健所や児童館で健康教室の心理相談員として、母親へのサポート・子どもへの接し方等を指導。
- ・1990年より、NHK「手話ニュース」にキャスターとして出演中。現在は、淑徳短期大学、ルーテル学院大学、東京薬科大学等の兼任講師として介護技術や障害者とのコミュニケーション技術を指導。東京家政学院大学では、障害児保育等を講義。
- ・1991年に開催された「第11回世界ろう者会議」では、国際手話通訳を担当する聴覚障害者への、専門の手話通訳者として活躍した実績を持つ。
- ・2000年・03年に、大好きな歌と子どもと手話を結びつけた『手話ソングブック』(1)・(2)を出版し、全国の幼稚園教諭・保育士を対象に、手話ソングを指導。
- ・2006年には『手話ゲームブック』を出版し、手話との新しい出会い方、楽しくすぐに覚えられる方法などを提唱。

□ 中野佐世子先生からのメッセージ

聴覚障害とは、単に「聞こえない」という障害にとどまらず、情報が得にくい、人とのコミュニケーションが取りにくい、そのために時には生命に関わる問題を引き起こす障害です。

しかし、私たちが手話で話せたらどうでしょう？

災害時の情報が伝わり、より良い方法を話し合い、助け合うことができます。私たちの前に立ちほだかるコミュニケーションの「障壁・障害」は消え去るのです。

誰もが笑って暮らせる街づくりを目指して、貴方も手話を学んでみませんか？